



北海道
SCGサービスセンター

丹野宏亮
Hiroaki Tanno

10月より北海道SCGサービスセンター長を拝命しました丹野宏亮(たんのひろあき)と申します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

初めての地域会担当として、北海道会を担当できるご縁をいただけたことに感謝しながら、私の自己紹介をさせていただきます。

1. 学生時代まで

出身は宮城県仙台市になります。

幼稚園では女優の鈴木京香さんと同じ幼稚園でした。残念ながら世代が少し違うため、「初恋の相手が鈴木京香」とはなりません。小学校と中学校ではサッカー少年で、毎回大敗する弱小チームのキャプテンとして、「弱い立場の気持ちを理解する心」を学ぶことができました。

大学では経営学を専攻しました。当社に最も必要なスキルである簿記やITの単位がことごとく取れず、今も当社で働いているのが不思議なくらいです。なお、大学のサークルでも鈴木京香さんの所属していたサークルに入りましたが、決して追いかけたわけではございません。

就職活動においては、就職氷河期の氷が解け始め、またリーマンショックの前というラッキーな時期でしたので、ありがたいことにいくつかの選択肢に恵まれた中で悩むことができ、最終的に当社に決めました。人生の中で最も良い判断ができたターニングポイントであったと今でも感じます。

2. TKCに入社してから

最初の配属は、SCGとして東京都心会の担当センターでした。『不撓不屈』の映画が公開された年でしたので、最初の社内会議で「何枚のチケットを担当するか」という議論を聞いて、最初は会社を間違えたかと思いました。1年後、東京中央会の担当センターに異動となり、そこでは7年間を過ごしました。

その後、静岡会担当の浜松センターに異動し、SCGとして4年間、センター長代理として3年間を過ごしました。坂本孝司全国会会長の事務所を担当させていただけた大変ラッキーな社員です。

そこから地元を通り越えて北上し、秋田センター長として3年過ごしました。20年目の社員としては、これまで珍しいほど転勤の少ない社員人生を歩んできました。今思えば、受け入れ先が見つからなかっただけなのかもしれません。

3. 北海道にて

北海道は、昔に姉が苫小牧に住んでいたこと、親友が札幌に住んでいることもあり、大学時代に何度か来たことがありました。また、秋田センター長時代に、今後は北海道に行ける機会も減ると思い、今年に入って小樽や富良野に行きましたが、予期せぬ形で異動先の下見になってしまいました。

執筆している10月中旬、ごあいさつさせていただいた会員の皆さまを通して、北海道の広大な地域にも勝る北海道会の大きな包容力と一体感があり、大きな職責と使命感と共に、心強くも感じております。担当させていただく3センターの社員一同、皆さまを精一杯ご支援させていただきます。今後ともご指導ご鞭撻(べんたつ)のほど、よろしくお願いいたします。